

段ボール原紙坪量集約ガイドライン

2010年4月
全国段ボール工業組合連合会

全国段ボール工業組合連合会は2009年11月に「環境自主行動計画（温暖化対策）」を公表し、段ボール業界全体としてCO₂削減に取り組む姿勢を示しました。また、2006年に段ボールリサイクル協議会が公表した3R推進自主行動計画の達成に向け、段ボールのリデュース、リサイクルにも取り組んでいます。

この中で使用原紙については今までも軽量化を進めて参りましたが、今回、より積極的に原紙の軽量化、CO₂削減を推進するための原紙坪量集約ガイドラインを作成しました。

使用原紙をより坪量の小さい方へ集約することにより、軽量化による直接的なCO₂削減、リデュース効果だけでなく、集約による生産効率向上という間接的なCO₂削減効果も期待できます。

会員各社におかれては主旨ご理解戴き、このガイドラインに沿って取り組んでいただきますようお願い致します。

1. 目的

- ① CO₂削減の推進
- ② リデュースの推進

2. ガイドライン

全体的に軽量化を推進するが下記3点を集中的に取り組む

- ① Kライナ関係 220gを210gへ、180gを170gへ集約する
- ② Cライナ関係 170gを160gへ集約する
- ③ 中しん関係 125gを120gへ集約する

3. 目標時期

2013年3月までに集約する